

報道機関各位

件名

第53回（令和9年度）信玄公祭り 信玄公役・勘助役の決定について

令和9年4月に開催する信玄公祭りの信玄公役・勘助役について、次のとおり決定しましたのでお知らせいたします。なお、日程等の詳細は決定次第、発表いたします。

信玄公役 ： 俳優

まや みき
真矢 ミキ さん



○ プロフィール

- 1964年1月31日、広島県生まれ、大阪府育ち。
- 1981年に宝塚歌劇団へ入団し、1995年に花組男役トップスターに就任、1998年の退団後、俳優として映画、ドラマ、舞台、さらには情報番組の司会など幅広い分野で活躍している。2021年の東京オリンピック開会式では、日本の伝統的な職人文化の象徴として棟梁役で出演。
- 主な出演作品
映画『踊る大捜査線 THE MOVIE2 レインボーブリッジを封鎖せよ!』、『容疑者 X の献身』、『九十歳。何がめでたい』、『アングリィスクワッド 公務員と7人の詐欺師』、『室井慎次 敗れざる者／生き続ける者』、『免許返納!?!』、『踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ!』など。
ドラマ「下町ロケット」シリーズ、「さくらの親子丼」シリーズ、NHK 大河ドラマ「どうする家康」、「ブルーモーメント」、「TOKYO VICE SEASON2」、「ファーストクライ 母子救命救急班」など。
近年は、2024年にフォトエッセイ『いつも心にケセラセラ』を刊行。2025年に引き続き、BLUE NOTE TOKYO での『MIKI MAYA SPECIAL LIVE 2026』を開催するなど、様々な分野で活動の場を広げる。

○ 選定の理由

- 真矢ミキさんは、宝塚歌劇団花組男役トップスターとして活躍された後も、自ら新たな挑戦を重ねながら活躍の場を広げてこられた。その努力によって現在の地位を築かれた歩みは、山梨県が目指す「頑張れば報われる山梨」のメッセージを託すのにふさわしい。また、常に新しいことへ挑戦される姿は、「新しい時代を切り拓く山梨」を体現いただける。これらの理由により、決定しました。

○ 真矢ミキさん ご本人からのメッセージ

私と山梨とのご縁の始まりは、宝塚時代の一年先輩、峰丘奈知さんの故郷であったこと。公演で初めて伺った折、この土地の豊かさ、食の奥深さ、そして何より人の温かさに触れ、以来、私にとって山梨はどこか懐かしく、折々に心を寄せる場所となりました。

そんな特別な思いを抱く山梨で、このたび「信玄公祭り」の武田信玄公役を仰せつかることとなりました。

歴史ある甲斐の地で、時を越えて信玄公の心に触れ、その姿を務めさせていただく、そのご縁を、とても嬉しく、そして光栄に思っています。

山梨の風土と歴史、そこに生きる人々への敬意を胸に、皆さまにお目にかかれる日を、今から心待ちにしています。

真矢ミキ

山本勘助役 : オペラ歌手 ^{やまもと こうへい} 山本 耕平 さん



○ プロフィール

- ・ 1984 年 11 月 1 日、鳥取県生まれ。
- ・ オペラ歌手（テノール）。東京藝術大学音楽学部声楽科を首席で卒業後、イタリア・ミラノのヴェルディ音楽院ビエニオコースを修了。
- ・ ウィリアムズバーグオペラ（アメリカ・ヴァージニア）『ラ・ボエーム』、ハノイ・オペラ『アニオー姫』主演など国内外で活躍。

○ 選定理由

- ・ 本県と重要な交流関係にあるベトナムにおいて日本との外交関係樹立 50 周年を記念したオペラ「アニオー姫」に出演するなど、文化芸術を通じた国際交流にも取り組み、両国の架け橋としての役割を果たしていることから、「平和の祭典」として開催する信玄公祭りへ参加いただくことがふさわしいことから、決定しました。

○ 山本耕平さん ご本人からのメッセージ

長崎知事にはリサイタルを聴いて頂いたご縁もあり、オペラ公演や、酒折宮でのヤマトタケル役の研究、数々のワイナリー見学など沢山の思い出がある山梨の、大切なお祭りに携わることができますことを光栄に存じます。

山本耕平

今後決定される第 53 回信玄公祭りのコンセプトに合わせたシナリオ・演出のもと、信玄公役・勘助役を演じていただきます。第 53 回信玄公祭りにぜひご期待ください！

問い合わせ先

信玄公祭り実行委員会（公益社団法人やまなし観光推進機構内）

担当 事務局長 相川、 観光・物産 PR 部長 清水

住所 〒400-0031 甲府市丸の内 1-8-11 OBIビル 3F 電話 055-231-2722